

# 水素社会

長野県長野工業高等学校

土木工学科

小林龍真 刈間拓己

# テーマのきっかけ

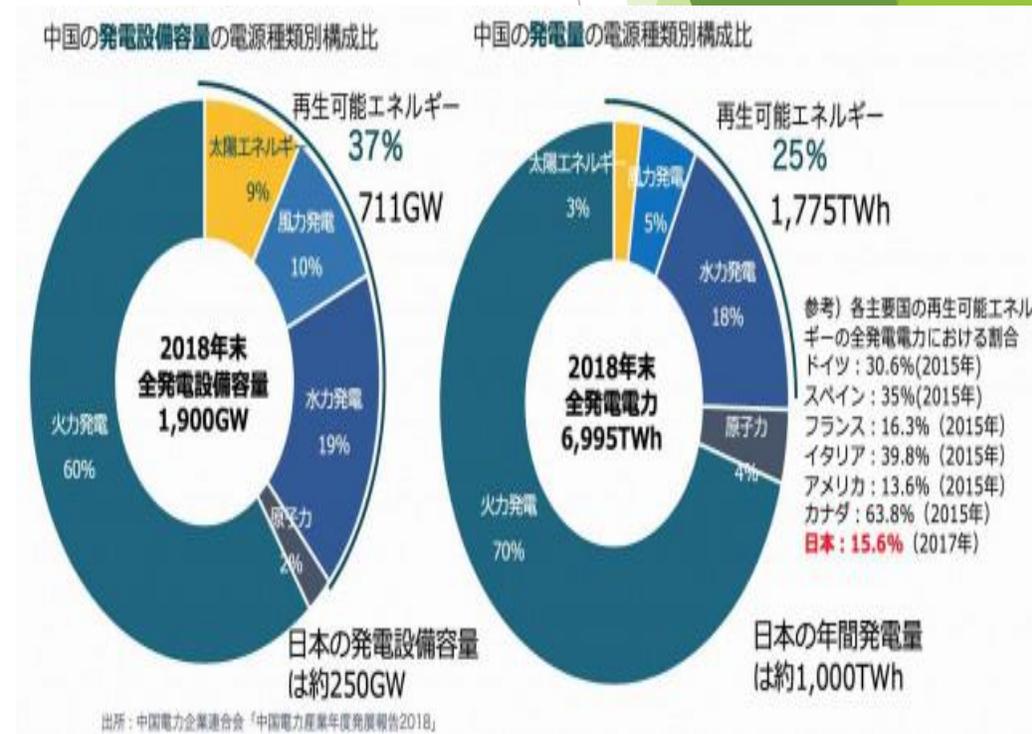
- SDGsのことに関して地球温暖化が特に気になったから
- 再生可能エネルギーである水素による発電や自動車の開発が進んでいたから
- メディアなどを通じて水素社会を知ったから

# 現状

- 水素自動車の開発はまだ数が少なく実現には時間が掛かる  
(2020年2824台)
- 水素社会について知ってる人が少ない
- 水素発電が普及していない (2018年  
日本全体の5%)

# 問題点

- 引火しやすい
- 水素energyのことが認知されていない
- 漏出しやすい
- 水素を作るのに電力が必要



# 今後の課題

- 資源の乏しい日本でもエネルギー資源として普及していけるようにする
- 水素による発電や政策を実現できるような社会にしていけるようにする

# 10代からの提言

企業がクリーンエネルギーを  
変えることでCO<sub>2</sub>排出量が  
増えずに済む



# 考察・感想

再生可能エネルギーの中の水素を使った政策を調べてみて、水素社会についての活動が少なく、世間の認知度が低いことが分かった。改善策は、企業のクリーンエネルギーや水素自動車の普及が必要だと思った。